







SCHEDULE

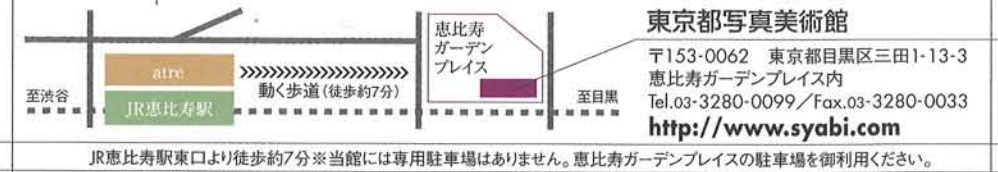
東京都写真美術館展覧会スケジュール

2004	3F展示室	2F展示室	B1F映像展示室	1Fホール
8	世界報道写真展2004 6月8日(火)~8月1日(日)	世界は歪んでいる。 Supernatural Artificial 7月17日(土)~ 8月29日(日)	 藤城清治の世界 光と影のシンフォニー 7月17日(土)~ 9月5日(日)	 ワー!マイキー!2004 7月17日(土)~ 8月27日(金)
	JPA展 8月7日(土)~8月22日(日)			「アニメアワード2004」 8/28日(土),29日(日),31日(火)
9	 ウィリアム・クライン展 「PARIS+KLEIN」 8月28日(土)~10月6日(水)	 坂田栄一郎 PIERCING THE SKY 9月4日(土)~ 10月11日(月・祝)		ウィリアム・クライン映画祭 9月4日(土)~9月10日(金)
10			東京オリンピック 開催40周年記念報道写真展 9月11日(土)~ 10月17日(日)	雲一息子への手紙 9月11日(土)~10月22日(金)
11	マリオ・テスティノ ポートレート展 10月16日(土)~11月21日(日) ※3F展示室・2F展示室同時開催		SSF世界スポーツ フォトコンテスト2004写真展 10月21日(木)~ 11月3日(水・祝)	ショートショートフィルム フェスティバルアジア2004 10月29日(金)~10月31日(日)
12	キャノン写真新世紀展 11月27日(土)~ 12月19日(日)	 「明日を夢見て」 ~アメリカ社会を動かした ソーシャル・ドキュメンタリー 11月27日(土)~ 2005年1月16日(日)	ミッションフロンティア展 (仮題) 11月9日(火)~ 12月15日(水)	
2005	日本の新進作家展 12月25日(土)~ 2005年2月6日(日)		クレア・ランガン 「フィルム・トリロジー」展 (仮題) 12月18日(土)~ 2005年1月30日(日)※予定	※このほか選りすぐりの 作品を上映予定です。 詳しい情報はホームページ をご覧ください。
1				
2	上野彦馬賞展 2月11日(金/祝)~ 2月19日(土)	戸田正寿「HEIAN」展 1月21日(金)~ 2月19日(土)	グローバルメディア展(仮題) 2月5日(土)~ 3月13日(日)	
3	文化庁メディア芸術祭 2月25日(金)~3月6日(日)	小林伸一郎写真展(仮題) 3月12日(土)~ 4月17日(日)	愛知万博関連展(仮題) 「Ten Views of Spain」 3月19日(土)~4月24日(日)	※スケジュール・展覧会タイ トルは予告なく変更される場 合があります。 最新のスケジュール詳細は ホームページをご覧ください。
	APA展 3月12日(土)~3月27日(日)			



"Kate Moss" / © Mario Testino (マリオ・テスティノ)

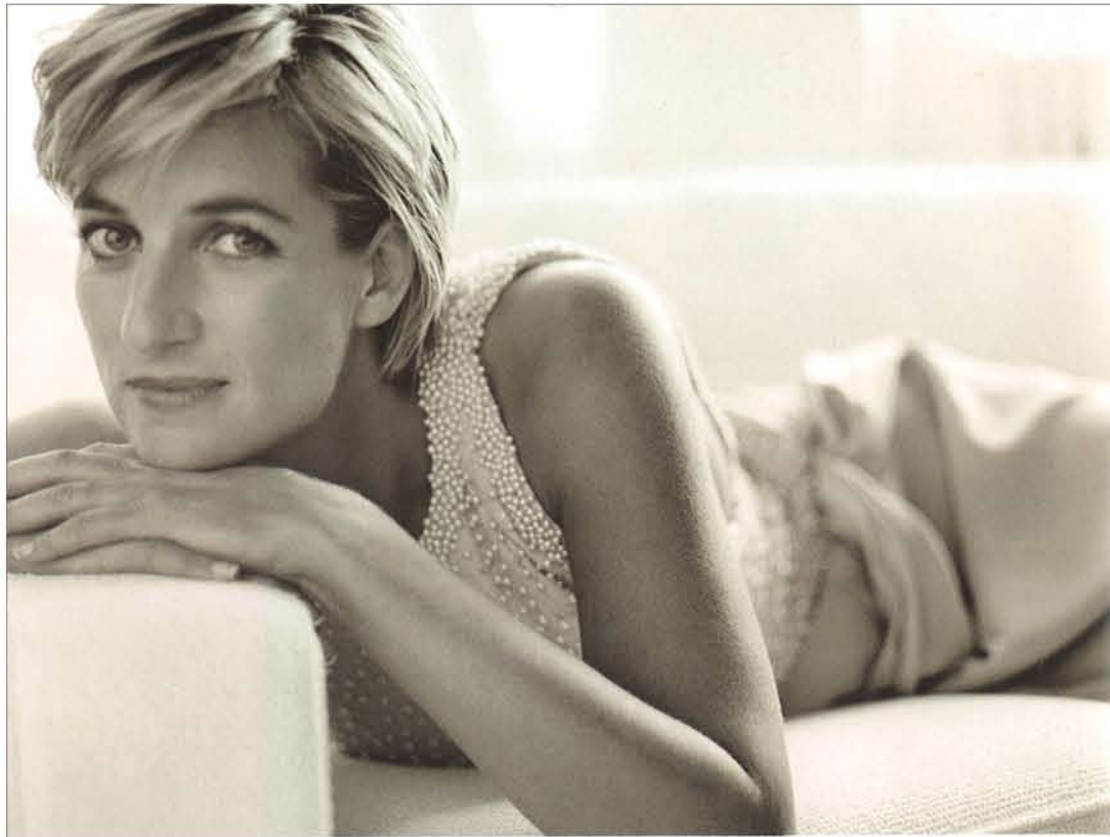
ご利用案内	●休館日：毎週月曜日(休館日が祝日または振替休日の場合、その翌日) ●開館時間：10:00~18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで	1/2~4 年始特別開館
全館セット割引 チケットの販売	お得な割引料金で展覧会をご覧いただけるセット割引チケットを販売しております。 詳しくはチケット売り場でおたずねください。	



※本誌掲載ページに掲載されている観覧料および商品の価格は、原則的に消費税込みの価格です。
東京都写真美術館ニュース「アイズ04」43号●発行日:2004年8月12日/企画・編集:東京都写真美術館学芸課 普及係●印刷・製本:
JTB印刷株式会社●発行:財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館©2004●本誌掲載の記事、写真の無断複製、複製を禁じます。



eyes 2004 Vol.43
東京都写真美術館ニュース「アイズ」



*1

Topics
Special
Interview

今回はマリオ・テストイーノ氏と古くから交流のあるファッションジャーナリストの村上香住子さんに作家の魅力を語っていただきました。

■ マリオと初めて会ったのは、80年代後半のことでした。

当時、私はマガジンハウスの海外特派員として、雑誌「アンアン」や「ブルーアス」などで仕事をしていたのですが、そこでマリオにポートレイトを撮ってもらっていたのです。彼が撮るカラー写真は、とにかく色合いがとても美しいんです。後になって本人からウィリアム・クラインが好きだったと聞いた時に、“なるほどな”と納得しました。特に印象に残っているのはマヨルカ島でのロケですね。4~5日間のロケ中、朝から晩まで一緒にいたのですっかりマリオとも打ち解けることができました。その後、「エル」や「フレンチ グラムール」、「ヴォーグ」と、いっしょに階段をのぼりつめた彼ですが、いまでも当時の話になると“あの時、仕事をくれて本当に助かったんだ”なんて言っていますね。最近ではあまりにも偉くなりすぎちゃったから、私も“もう仕事なんて頼めないわ”って冗談で言うこともあるんですが、そんな時は“いつまで続くかわからないよ”と、いたって冷静な答えが返ってきます。



*2

③ 決して天狗になることなく、ありのまま。それがマリオの魅力なんでしょうね。とにかくダンディで、生活全体がオシャレな人なんです。マリオ自身もいつもスーツでピシッと決めていましたが、周囲のスタッフも美男美女が勢ぞろいしていましたね。ラフなファッションで仕事をするスタッフが多い中、彼とペアで仕事していた女性スタイリストはいつもピンヒールをはいていたほどです。ダンディといえば、セシル・ビートンも有名ですが、彼のライフスタイルにも多少、影響されていた部分があったのかもしれない。そこまでオシャレだと、とすれば、近寄りやすい雰囲気を出しそうなのですが、そこが違います。マリオは常に自然体でまわりの気持ちをほぐし、和ませてくれる才能の持ち主。ですから、彼のいる現場は決してビリビリすることはありませんでした。



*3

■ ここで、そんなマリオの人となりを表すエピソードを2つお話ししましょう。

あれは「フィガロ」でジェーン・パーキンの取材に行った時のことでした。マリオも同行したのですが、ポートレイトを撮る話がジェーンには伝わってなかったんですね。しかも、彼女はちょうどお父様を亡くした直後で、大変な悲しみに打ちひしがれていました。カメラマンを見た途端、ジェーンは“私は撮影の話など聞いていないわ。メイクもしていないしポートレイトなんてとんでもない!”とヒステリックに叫びだしたんです。もう、取材どころではありません。私は困惑しました。すると、さっとマリオが立ち上がり、ジェーンのほうへ歩き出したんです。なにを話しているのかはわかりませんでしたが、なにやらジェーンと会話を交わしている様子でした。数分後、なんとさっきまでヒステリックになっていた彼女が上機嫌になったのです。そして着ていたジャケットを脱ぐと白いTシャツ姿になって言いました。“これを着ている私を撮ってくれるなら撮影してもいいわ”と…。この時の模様はめでたく記事になり、後にジェーンから“私を人生でいちばん美しく撮ってくれた写真です”というメッセージが届きました。彼女が着ていた白いシャツ。それは亡くなったお父様の下着だったのです…。それにしても、ほんの数分間のうちに錯乱状態にあった彼女の気持ちを解きほぐしてしまうなんて、マリオには心理分析家の才能もあるのではないのでしょうか(笑)。故ダイアナ元妃の撮影のときもそうでした。当時、パパラッチ騒動などで精神的にも疲れていたダイアナ元妃は、マリオに会ったときもすぐには笑顔を見せなかったようです。ところが、時間が経つにつれ、こわばっていた表情も、たちまちトロリ。そんな風にマリオには女性が信頼してしまうオーラがあるのです。そして人

間味にも溢れる彼に、セレブたちはここの信頼を寄せるのでしょう。マリオは“ダイアナを最後に撮ったカメラマン”としても有名になってしまいました。彼女が亡くなった直後、マリオは東京のBunkamuraギャラリーで写真展を開いたのですが、そのショックは相当なものだったようです。まだ9月上旬でとても蒸し暑い日だったのですが、パーティ会場に登場したマリオは喪服に身を包んでいました。“ダイアナの写真を展示しているのだから当然だよ”と言う彼の額からは汗が噴き出し、見ているだけで辛そうな様子でした。でも、そうやって筋道を立てることが彼の美意識でもあるのだなと感じましたね。40日間で観客動員数16万8千人と、連日盛況だったロンドンの展覧会には朝早くから長蛇の列が並んでいました。単にファッション関係の人ばかりでなく、世代も職業も幅広くといったところが印象的でした。マリオの写し出す写真には人間的に心に触れるものがあるのです。人はそのなにかを求めて彼の写真を見つめるのではないのでしょうか。

(2004年7月 電話インタビューにて)

MARIO TESTINO PORTRAITS

マリオ・テストイーノ写真展 ポートレイト

*表紙 “Kate Moss” National Portrait Gallery 2001年 London

* 1 “Diana Princess of Wales” Vanity Fair 1997年 London

* 2 “Robbie Williams” British Vogue 2000年 London

* 3 “Kate Moss” US Vogue 2001年 Cannes

写真は全て© Mario Testino

同時開催

3F・2F / 3階展示室・2階展示室
Exhibition Gallery

友の会
割引

三越カード
割引

アレカード
割引

2004年10月16日(土)→11月21日(日)

MARIO TESTINO PORTRAITS

マリオ・テストイーノ写真展 ポートレート

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>



"Gwyneth Paltrow" Vanity Fair 2000年 New York © Mario Testino

「ファッション写真界の貴公子」といわれるマリオ・テストイーノは、1980年代前半に生地である南米ペルーのリマ市からロンドンへ移住し、本格的に写真に取り組み始めました。被写体の品格、キャラクターを際立たせる彼の作風は高い評価を受け、たちまち人気写真家の地位に上り詰めました。現在、欧米の有名ファッション誌で活躍する他、バーバリー、グッチ、ヴェルサーチを始めとする世界のトップブランドから広告写真の依頼も殺到しています。また、活躍の場はファッション界にとどまらず、各界の有名人が自分の写真を撮ってもらうのにテストイーノを指名しており、今“最も注目される”写真家です。本展では、故ダイアナ元妃、チャールズ皇太子、ウィリアム王子らの英国王室、ジュリア・ロバーツ、メグ・ライアン、キャメロン・ディアス、ニコール・キッドマンなどのハリウッドスター、ナオミ・キャンベル、ケイト・モスらスーパーモデル、マドンナ、ベッカム夫妻、ローリングストーンズ、ロビー・ウィリアムズなど各界著名人の華やかな肖像写真、約120点をご紹介します。

◎お問い合わせ：
「マリオ・テストイーノ写真展 ポートレート」
広報事務局 03-3263-5621

eyes

03

2F / 2階展示室
Exhibition Gallery

友の会
無料

三越カード
割引

アレカード
割引

2004年11月27日(土)→2005年1月16日(日)

「明日を夢見て」 アメリカ社会を動かした ソーシャル・ドキュメンタリー

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>



ルイス・ハイン1910年

19世紀後半から20世紀前半のアメリカでは、不安定な社会状況を良くするために数多くのドキュメンタリー写真(社会的な問題を記録した写真)が撮影されました。さまざまな社会問題を写真に捉え、それを世の中に広く発表することは、多くの人々に現実を突きつけ、ついには社会改革をおこすチカラとなりました。また、それらの写真は単なる記録にとどまらず、芸術性の高い作品が数多くありました。この展覧会ではそれらの作品約200点を紹介し、社会を変えようと熱く立ち上がった写真家たちの、勇気と挑戦の軌跡をたどります。

◎一般 600(480)円 ◎学生 500(400)円

◎中高生・65歳以上 300(240)円

()は20名以上の団体料金および上記カード会員割引

※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料

※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

◎主催：東京都写真美術館

読売新聞東京本社/美術館連絡協議会

◎協賛：花王株式会社

◎助成：芸術文化振興基金



芸術文化振興基金助成事業

作品
募集

写真展「明日を夢見て～アメリカ社会を動かした
ソーシャル・ドキュメンタリー」関連イベント

写真のチカラ。

◎作品発表展：2004年11月27日(土)～2005年1月16日(日)

東京都写真美術館 2階展示室前ロビー

東京都写真美術館では11月27日より開催する写真展「明日を夢見て～アメリカ社会を動かしたソーシャル・ドキュメンタリー」の関連イベントとして、小学校・中学校・高等学校生を対象にした公募作品展「写真のチカラ。」展を開催します。

◎お問い合わせ：
東京都写真美術館
03-3280-0099

応募方法

応募対象：全国の
小・中・高等学校の生徒

当館で配布中の専用応募用紙付チラシをご覧になるか、写美ホームページから専用応募用紙をダウンロードしてください。

<http://www.syabi.com>

応募用紙を入手したら必要事項を記入後写真貼付欄に写真を貼ります。(担当教諭の承認欄へのご記入も忘れないようにお願いします。)

〈発送の準備ができたなら〉

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館「写真のチカラ。」係
まで**10月20日(水)必着**でお送りください。

※eyes42号 P12では「パワー・オブ・ピクチャー」というタイトルになっておりましたが、展覧会名称が写真展「明日を夢見て～アメリカ社会を動かしたソーシャル・ドキュメンタリー」に変更になっております。

04

eyes

2F / 2階展示室
Exhibition Gallery

友の会
割引

三越カード
割引

アレカード
割引

2004年9月4日(土) → 10月11日(月)

PIERCING THE SKY-
天を射る
坂田栄一郎 EIICHIRO SAKATA

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

○一般 700(560)円 ○学生 600(480)円
○中高生・65歳以上 500(400)円
()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会、上記カード会員割引料金
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都写真美術館/朝日新聞社



©坂田栄一郎

肖像写真家として著名な坂田栄一郎氏。日本大学芸術学部写真学科を卒業した坂田氏は、株式会社ライトパブリシティに1年在籍した後に渡米し、リチャード・アヴェドンに師事。1970年に一時帰国した際には、初個展「Just Wait」を開催し、当時の写真界にセンセーショナルを巻き起こし

ました。その後、「注文のおおい写真館」、「TALKING FACES」など、それまでの日本の肖像写真にはあり得なかった意欲的な作品を発表し続けました。その一方で、1988年の創刊から雑誌「アエラ」の表紙の肖像写真を担当し、これまで撮影した人の数は800人を超えています。彼の撮る肖像写真には撮られた人物だけではなく、その人の生きている時代、思想が浮かび上がっており、それらに感銘を受ける人々が後を絶ちません。また、氏は1993年にアルル国際写真フェスティバルにメインゲストの一人として招待され、この年のアルル名誉市民賞を受賞しました。今回は本展覧会のために約7年前より撮りおろされた未発表作品約100点を展示。モノクロの人物と色鮮やかな自然との対峙を軸に、前作の「amaranth」からのテーマでもあった「環境問題」を、より深く表現しています。相対する写真の語りかけに込められた、慈雨のようなメッセージを受け取ってください。

Work
Shop

坂田栄一郎
「PIERCING THE SKY-天を射る」
作家によるワークショップ

作家が自身の作品について語り、また参加者の写真を講評します。

- 日 程：10月9日(土) 13:00~17:00
- 定 員：20名(自作写真を10点以上用意できる方)
- 参加費：1,500円(展覧会鑑賞券付き)
- 締 切：9月27日(月) 必着
- 応募方法：往復ハガキにてご応募ください。
※詳細はホームページにてご確認ください。

作家による
ギャラリートーク

○日 時：9月11日(土)

※開催時間など詳細はホームページにてご確認ください。

eyes

| 05 |

坂田栄一郎 「PIERCING THE SKY-天を射る」



エンツォ・アウキ (画家) ©坂田栄一郎



マニエル・ルグリ (バレエ・ダンサー) ©坂田栄一郎



エディー・ブー (自然保護活動家) ©坂田栄一郎

展覧会詳細はSページ

| 06 |

eyes

3F / 3階展示室
Exhibition Gallery

友の会
割引

三越カード
割引

アトレカード
割引

2004年8月28日(土) → 10月6日(水)

ウィリアム・クライン 『PARIS + KLEIN』展

William Klein Photo Exhibition and Film Screening

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

○一般 800(640)円 ○学生 700(560)円
○中高生・65歳以上 600(480)円
()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会、上記カード会員割引料金
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都写真美術館/朝日新聞社
○助成：財団法人地域創造
○協賛：エールフランス航空/ニコン/ニコンカメラ販売
○協力：ヨーロッパ写真美術館/角川大映映画
日本スカイウェイ/IVC/ウォーカーアートセンター



Autoportrait 1994 © William Klein

1928年、ニューヨークに生まれたウィリアム・クラインはアメリカ陸軍に入隊した後、ソルボンヌ大学で文学を修め、絵画を学びながら写真の世界へと飛び込みました。当時、独学で写真を始めたクラインは実験的な抽象写真で注目されていたドイツのバウハウスに大きな影響を受けたといえます。'55年にグラフィックデザイナーとなった彼は、やがてファッション写真家へと転身。翌年、発表した写真集「ニューヨーク」(NEW YORK)ではパリの権威あるナダール賞を受賞。今作品が彼の代表作となったのは言うまでもありません。以後、独特の〈ブレ・ボケ・アレ〉を多用したスタイルで「ローマ」(ROMA)、「モスクワ」(MOSCOW)を発表し、'64年には「東京」を出版しました。また、一方では映画制作にも意欲を燃やし、幅広い視点で描いた作品を世に送り出していることでも有名です。76歳になる現在も精力的に活動を続け、'02年には都市シリーズの新作「PARIS+KLEIN」を写真展と写真集で同時発表し、高い評価を得ているウィリアム・クライン。本展は、パリのヨーロッパ写真美術館で開催された同展の日本唯一の巡回展となり、大型カラー作品75点の展示とあわせて、代表作および未発表の映画作品8点を一挙上映いたします。

「KLEIN + FILMS」ウィリアム・クライン映画祭

○上映スケジュール：9月4日(土)～9月10日(金) 1Fホールにて開催。
○特別上映会：10月6日(水) 18:30～1Fホールにて開催。
※詳細はP13をご覧ください。※「雲～息子への手紙」の17時以降の回は休映いたします。

eyes

| 07 |

ウィリアム・クライン「PARIS + KLEIN」展



Serge Gainsbourg. For Record Cover Love on the Beat, Paris, 1984 © William Klein

展覧会詳細は7ページ ●

| 08 |

eyes

2004年10月21日(木)→11月3日(水)

SSF世界スポーツフォト コンテスト2004写真展

One Moment in Time

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>



1	2
	3

1. "A Kiss for the Bronze Medal"
銅メダルにキス。
Mr. Lene Esthave (Denmark)
2. "The Power and Beauty of Sport"
スポーツの美学と力
Mr. Brett Costello (Australia)
3. "Sumo" 相撲
Mr. Stephen Dupont (Australia)

人類の賛歌であるスポーツをあらゆる角度から切り取るこの展覧会。本年度は、世界45カ国・約9,800点に及ぶ応募作品の中から厳正なる審査の結果、入賞作品5点をはじめ入選作品111点をDVD映像展示およびパネルを通じてご覧いただけます。これらの作品は、さまざまな人々が、スポーツによって作り出す集中、緊張、解放、微笑、美、そして感動が形と色で表現される『人間の瞬間』の記録です。

出品作家(予定)

Lene Esthave (レイン・エスサベ)
Brett Costello (ブレット・コステロ)
Adam William Pretty (アダム・ウィリアム・プリティ)
Kiyooki Sakakibara (榎原 清彰)
Stephen Dupont (ステファン・ドゥボン)

お問い合わせ: 「SSF世界スポーツフォトコンテスト事務局」
03-3580-5854 <http://www.ssf.or.jp>

2004年9月11日(土)→10月17日(日)

東京オリンピック 40周年記念報道写真展

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>



"開会式における日本選手団入場" 1964年10月10日

お問い合わせ: 「産経新聞社 事業局」 03-3275-8905

一般 800(640)円 ○学生 600(480)円
○中高生・65歳以上 400(320)円

()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会、上記カード会員割引料金
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

主催: 産経新聞社 他
共催: 東京都写真美術館

2004年は108年ぶりにギリシャ・アテネで第28回オリンピック競技大会が開催されるオリンピックイヤー。同時に、東京オリンピック開催40周年という記念すべき年でもあります。そこで今秋、メモリアル・イヤーを記念した展覧会を開催することになりました。展示内容は東京オリンピックに関する貴重な写真、資料、グッズなどの展示、アテネ大会の速報写真などを織り交ぜ、オリンピックを総合的に楽しんでいただける工夫が凝らされています。東京オリンピック世代の方はもちろん、当時まだ生まれていなかった若い世代の方々にもオリンピックの魅力を充分にご堪能いただける絶好の機会です。

「ミッション・フロンティア-視覚の未知を探る」展(仮題)

2004年11月9日(火)→12月15日(水)



「ミッション:ジェミニ」タイトン4号 1965年6月3日-7日 1965年 ポートフォリオNASA「宇宙への旅-25年の歴史」1991年より 東京都写真美術館蔵

本展では、人類に残された最後のフロンティアである「宇宙」や「深海」、私たちの身体や「脳内」などのインナースペースに注目し、すぐれた造形性や概念・人間の取り組みを視覚的に探ります。日本科学未来館の協力を得て、理想郷としての宇宙ではなく、CM撮影や宇宙計画(ミッション)の実現する日常としての宇宙を中心に、まだ見ぬ視覚的フロンティア/科学と芸術の融合領域を、音や光の体験型メディアアートや科学的資料展示で紹介いたします。

Museum Shop

1F ミュージアムショップ「ナディッフ バイテン」
www.syabi.com/shop/shop.html

NADIFF
X IO

○お問い合わせ:
「ナディッフ バイテン」/
直通 03-3280-3279
○新商品や入荷情報などは
ホームページでもご紹介しています
www.syabi.com/shop/shop.html

book

小島一郎 “hysteric Eleven”
雪の大地に暗い海、寒さに垂れ込める雲のグラデーションなど、美しい白と黒の世界。小島一郎氏の作品が40年という月日を経て蘇ります。



小島一郎
「hysteric Eleven」
5,880円(税込) /
限定800部

camera

夏のトイカメラ『FROG EYE』
「カエルの目にはどんな光景が写っているのだろうか?」がキーワードのフラッシュ内蔵水中カメラ。もちろん地上でも撮影可能な夏にぴったりのカメラです。



トイカメラ
「FROG EYE」
10,290円(税込)

Cafe

1F 2F カフェ「シャンブル クレール〜明るい部屋〜」
www.syabi.com/cafe/cafe_01.html

chambre
claire

○お問い合わせ:
カフェ「シャンブル クレール」
直通 03-5798-2218
www.syabi.com/cafe/cafe_01.html

beer

新登場!オルヴァル
修道院などで飲まれているベルギーの代名詞とも言えるビール。苦みとコク、フルーティーな薫り、きめの細かい泡立ちをお楽しみください。



オルヴァル
Orval
アルコール6.2%
1,250円(税込)

sweets

オリジナルスイーツ第2弾!
シャンブル・クレールの新作は「ガトーショコラと豆腐ティラミス」。大人気豆腐ティラミスとガトーショコラの相性はバッチリ。是非ご賞味ください。



ガトーショコラと
豆腐ティラミス
550円(税込)



“ゆったりと、子どもを預けて楽しむ”
ポピンズ・キッズスペース (託児施設) をご紹介。



○お問い合わせ:ポピンズキッズスペース
TEL:03-5791-2105
FAX:03-5791-2106

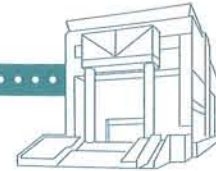
写真美術館から歩いて3分、恵比寿ガーデンプレイス 式番館1階に託児施設がオープンしました。安全な環境で、プロの保育スタッフがお子様を大切に預かりいたします。さらに当日消印のある東京都写真美術館の半券を提示することで、施設利用料が10%引きとなります。お問い合わせは左記まで。

※ポピンズ・キッズスペースのご利用の際のキャンセル料金、トラブル等、当館では一切の責任を負いません。ご了承ください。

Museum Information

東京都写真美術館はJR恵比寿駅から強い日差しや雨を気にせずにご来館いただけます。スカイウォーク終点のインフォメーションブースまでお気軽にお尋ねください。

10th Anniversary



東京都写真美術館は、来年1月に開館10周年を迎えます。

当館はこれまでに2万点を超える写真や映像の収蔵作品や約5万4千点の蔵書を誇り、写真・映像に関する総合的な美術館として年間を通じてさまざまな展覧会を開催してきました。このコーナーでは『ZoomUp!写美』と題して前号(42号)から4回にわたり、写真美術館を支えてきた各分野の一面をご紹介します。

ZoomUp!
写美Vol.2

図書室 Library (4F)



第二回目は写真の歴史に思う存分、触れることのできる図書室です。写真、映像関連の専門図書館として写真集や展覧会カタログ、専門書、雑誌、新聞の切り抜き、チラシ、パンフレットなど豊富な資料は当館ならではの。その保存方法や利用法についてご紹介します。



新着図書の配架作業

当館の図書資料は開架と閉架に分かれており、図書室内ですぐに手にとってご覧いただくことができるものと、コンピューター検索後、閲覧請求の手続きをさせていただいているものに分かれています。実際に展覧会の展示作品として使用することもあるため、保存には特別に気を配っています。紙の劣化を防ぐため、資料が収蔵されている書庫内の環境は摂氏20℃、湿度50%に24時間空調で保たれ、多くの資料はここに収蔵されています。また、オリジナルの状態を保つため、ブックケース、カバー、帯等はなるべくそのままにし、ポリプロ素材のカバーをかけた後、保存用の中性紙箱に入れて管理されています。こうして蓄積された資料は現在、5万4千点にのぼり、中には1933年発行の小石清の「初夏神経」、細江英公の「薔薇刑」の初版本と

いう貴重な資料も含まれています。入手が困難な限定版や洋書の写真集も多く所蔵され、雑誌は創刊号からの「アサヒカメラ」や「ライフ」などが気軽にご覧いただけるのも特徴です。写真に関する図書についてや所蔵状況など、利用者からの様々なお問い合わせにも応じておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

○開室時間:10:00~18:00

○休室日:毎週月曜日(休館日が祝日または振替休日の場合、その翌日)、年末年始



「ライフ」「アサヒカメラ」の創刊号

書庫で大切に保存される書籍や資料

報告

コロジオン湿板「坂本龍馬像」調査報告

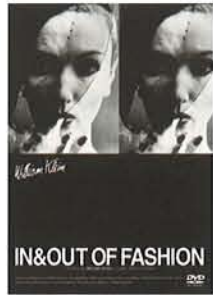


平成15年秋に開催された「写真と絵画の展覧会 士 日本のダンディズム」では、高知県立歴史民俗資料館所蔵のコロジオン湿板「坂本龍馬像」を借用し展示するとともに、当館保存科学研究室において本作品の科学調査を行いました。そして、この調査を受け、本年5月29日(土)、所蔵館において調査内容が記者発表されました。調査では、ガラスのまま頒布されたアンプロタイプではなく、現在ではきわめて貴重な印画紙に焼き付けるためのコロジオン湿板ネガ(原板)である可能性が非常に高いことがわかりました。

東京都写真美術館で観る映画シリーズ

当館では「写真美術館で観る映画シリーズ」と題し、選りすぐりの作品を上映しています。
美しい映像と心にしみる感動をお楽しみください。

ウィリアム・クライン



『KLEIN + FILMS』ウィリアム・クライン映画祭がいよいよ開催

独特の〈ブレ・ボケ・アレ〉を多用したスタイルで現代写真界に大きな影響を与えたウィリアム・クライン。写真家として華やかな活動を続けていた彼が初めて手がけた映画が'58年の短編作「ブロードウェイ バイ ライト」でした。その後、映画制作に専念した氏はSF調のコミカルタッチで未来の都市生活を批判的視点から描いた「モデルカップル」や、パリコレで活躍するデザイナーたちとファッション産業を風刺した「モードイン フランス」で話題に。'93年にはドキュメンタリー作品「イン アンド アウト オブ ファッション」と同名の写真集を発表しました。本展では現代写真界・映画界の巨匠である氏の代表作5点および未発表作品3点を上映いたします。

- 上映スケジュール：9月4日(土)～9月10日(金)
- 特別上映会：10月6日(水) 18:30～
※「雲～息子への手紙」の17時以降の回を休映し、特別上映いたします。
- 休映日：月曜日(祝日の場合は翌日)
- 料金：一般 1,200(1,000)円(9/4～9/10)
一般 2,000(1,800)円(10/6)

上映作品(予定) ※①②③は10/6(水)18:30～1回のみの上映となります。

- ① イン・アンド・アウト・オブ・ファッション 1993年
- ② モデルカップル 1976年 ③ ミスター・フリーダム 1967-68年
- ④ ポリー・マギー お前は誰だ? 1965-66年 ⑤ モハメド・アリ ザ・グレイテスト 1974年
- ⑥ ブロードウェイ・バイ・ライト 1958年 ⑦ コンタクト 1983年 ⑧ メシア 2000年

◎お問い合わせ：03-3280-0034(東京都写真美術館内)

雲～息子への手紙



上映スケジュール
9月11日(土)～
10月22日(金)
※10月6日(水)のみ
17時以降の回、休映

「雲」に託した“こころ”の旅の物語

「雲」に魅せられた女性監督マリオン・ヘンセルが、世界を旅して「雲」と自然を時に優しく、時に力強く描いたドキュメンタリー。

- 2001年/ベルギー・ドイツ/76分 ■監督:マリオン・ヘンセル
- 製作:マリオン・ヘンセル、カール・バウムガートナー
- 声の出演:カトリヌ・ドヌーヴ(仏語版)、シャーロット・ランプリング(英語版)
- 提供:ギャガ・コミュニケーションズ ■配給:アップリンク

詳細ホームページ <http://www.uplink.co.jp/film/>
◎お問い合わせ:アップリンク/03-6821-6821

ショートショートフィルムフェスティバル アジア2004

アジアのショートフィルム
のみの映画祭を開催
東京発アジアのショート映画祭。25分
以内で表現されるシャープさが魅力です。

詳細ホームページ <http://www.shortshorts.org/asia/top.html>
◎お問い合わせ:ショートショートフィルムフェスティバルアジア実行委員会/03-5214-2477

東京アニメアワード2004・フィルムフェスティバル

上映スケジュール
8月28日(土)・
29日(日)・
31日(火)
監督達によるトークショーなど
特別企画も予定!
東京国際アニメフェア2004コンペティ
ション公募部門受賞作品を上映します。

詳細ホームページ <http://www.taf.metro.tokyo.jp/index.html>
◎お問い合わせ:東京国際アニメフェア事務局/03-5320-4786

維持会員 Membership

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に維持会員としてご入会いただきました。

※詳しくはHPをご覧ください。<http://www.syabi.com/Membership.html>

- | | | | |
|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●特別維持会員 キヤノン株式会社 株式会社資生堂 東京電力株式会社 凸版印刷株式会社 株式会社リコー ●維持会員 株式会社アサツー ディ・ケイ 朝日新聞社 アサヒビール株式会社 朝日放送株式会社 アップルコンピュータ株式会社 株式会社イトーヨーカ堂 エスエス製薬株式会社 株式会社NHKエンタープライズ21 NTTコミュニケーションズ株式会社 株式会社NTTドコモ 株式会社大林組 オリンパス株式会社 株式会社オンワード樺山 カシオ計算機株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社角川書店 カトーレック株式会社 カルピス株式会社 キッコーマン株式会社 キヤノン販売株式会社 共同印刷株式会社 社団法人共同通信社 協和発酵工業株式会社 | <ul style="list-style-type: none"> キリンビール株式会社 株式会社講談社 株式会社コーセー コダック株式会社 株式会社コングレ 株式会社ザ・アール サッポロホールディングス株式会社 佐藤製菓株式会社 三共株式会社 サントリー株式会社 ジェイティービー印刷株式会社 清水建設株式会社 株式会社写真弘社 シャネル株式会社 株式会社集英社 株式会社主婦と生活社 株式会社小小学館 松竹株式会社 信越化学工業株式会社 セイコー株式会社 セイコーエプソン株式会社 セントラル警備保障株式会社 ソニー株式会社 第一建築サービス株式会社 大成建設株式会社 大日本印刷株式会社 株式会社竹中工務店 株式会社タムロン 中外製薬株式会社 株式会社テレビ東京 | <ul style="list-style-type: none"> 株式会社電通 東亜建設工業株式会社 東海旅客鉄道株式会社 東京ガス株式会社 東京急行電鉄株式会社 東京工芸大学 東京総合写真専門学校 株式会社東京ドーム 株式会社東芝 株式会社東北新社 株式会社徳間書店 図書印刷株式会社 戸田建設株式会社 トヨタ自動車株式会社 株式会社ニコン 日産自動車株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社 日本オラル株式会社 日本興亜損害保険株式会社 社団法人日本広告写真家協会 日本写真芸術専門学校 日本写真作家協会 社団法人日本写真文化協会 日本信販株式会社 日本大学芸術学部 日本テレビ放送網株式会社 日本ハム株式会社 日本ビルサービス株式会社 日本放送協会 日本油脂株式会社 | <ul style="list-style-type: none"> 日本リーバ株式会社 株式会社博報堂 株式会社バンダイ びあ株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社ファーストリテイリング 富国生命保険相互会社 富士重工業株式会社(スバル) 富士ゼロックス株式会社 株式会社フジテレビジョン 株式会社ブリヂストン 株式会社プリンスホテル 株式会社フレームマン 株式会社ベネッセコーポレーション ペンタックス株式会社 株式会社ホテルオークラ 株式会社堀内カラー 本田技研工業株式会社 毎日新聞社 株式会社マガジンハウス 丸善株式会社 三井倉庫株式会社 森ビル株式会社 モンブランジャパン株式会社 横河電機株式会社 読売新聞社 ライオン株式会社 株式会社ワコール |
|--|---|---|---|

(平成16年7月現在・五十音順)

友の会 Supporter

東京都写真美術館では、随時会員の募集をしています。展覧会のご招待、写真美術館ニュースeyesの送付をはじめ、たくさんの特典、割引がございます。開館時間中(10:00～18:00)に当館1階チケットカウンター横「友の会カウンター」にてご入会いただけます。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

年会費	
個人会員	2,000円
家族会員同伴者1名まで	3,000円
シルバー会員(65歳以上の方)	1,000円

- 受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみとなっております。
- 会員証の有効期限は、翌年の同月末日までです。
- ※詳細は当美術館までお問い合わせください。
TEL:03-3280-0099

友の会特典	特典内容
収蔵展・映像展	無料 ※会期中は何度でもご覧いただけます ※家族会員の方は、同伴者1名まで無料
共催展・企画展	割引 ※御利用いただけない場合もございます
ミュージアムショップ	5%引き ※一部商品は除きます
カフェ	ブレンドコーヒー、ダーズリン紅茶を200円引き ※詳細はお尋ねください
その他	○写美NEWS「eyes」送付 ○1階ホール(実験劇場)の割引 ○ナディア本店(表参道)で輸入商品1,000円以上のお買上につき5%割引(除外国産品) ○ロコス渋谷店で1,000円以上のお買上につき5%割引(洋書・洋雑誌)など